

愛知民報

2015年
10月4日
第2276号



戦争法廃止・安倍内閣打倒を訴え、名古屋駅西口噴水前を埋めた学生と市民

安倍内閣打倒 戦争法廃止へ 「野党はまとまれ」



国会議員が共闘呼びかけ 「立憲主義を取り戻そう」

KAIの街頭宣伝で、SEALDs TOKAIのゲストとして、日本共産党の小池晃副委員長・参院議員、本村伸子衆院議員、民主党の近藤昭一、山尾志桜里の両衆院議員が参加。氏は安倍政権打倒、戦争法廃止、立憲主義回復の共闘を呼びかけ、聴衆から大きな拍手が寄せられました。

小池氏の訴えの要旨を紹介します。 ◇ 与党は暴力で、明らかに憲法違反の法律を強行しました。これで戦争法反対のたたかは日本は民主主義の国ではなくなります。

日本共産党は、野党と国民が力を合わせ、総理大臣をしばる、憲法が権力をしぶる立憲主義を取り戻しましょう。憲法が権力を合わせようではありませんか。

「野党がんばれ」の声を広げてください。新しい歴史を作るために力を合わせようではありませんか。

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料 164円 1部100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人々に

立憲主義・民主主義・平和主義を破壊する安倍政権を打倒し、戦争法の廃止をめざす運動が発展しています。9月27日に名古屋駅前でおこなわれたSEA LDs (シールズ) 自由と民主主義のための学生緊急行動TOKAI (東海) の街頭宣伝には約1500人が集まりました。日本共産党が19日発表した「戦争法(安保法制) 廃止の国民連合政府」実現の提案に賛同が広がっています。

9月27日のSEA LDs TOKAI (シールズ東海) の街頭宣伝は、戦争法の採決強行後初めての行動。 参加者は「安倍やめろ」「憲法守れ」「国民連合政府賛成」などと書かれたプラカードを掲げ、「選挙に行こうよ」(デモに行こうよ)、「野党はがんばれ」(賛成議員は落選させよう)などと元気なコールを繰り返しました。 シールズ東海のメン

一 他のメンバーも「私たちが声を上げないと国会を変えることはできない。声を届けてくれる議員を選ぼう」(自けました)。

安倍首相はおじいさんの岸信介元首相より悪く政治家だと思っていました。第1次安倍政権は、教育基本法改悪、防衛庁の防衛省への昇格をやりました。

安倍首相は戦争法を強化して敵を増やしたのではないかでしょうか。 共産党が発表している国民連合政府の提案も使って、民主主義、立憲主義破壊の安倍政権は、何としてもつぶさなければならぬと思います。

共産党の提案使おう

池内了(名古屋大学名誉教授)

あなたが声を受け止められるのが政党の責任です。戦争法をつくつたのが間違いだったと安倍首相が涙を流すような結果をつくろうではありませんか。

安倍政権は、憲法そのものの、憲法学者の意見を重ねようなどとしました。民主主義・立憲主義の破壊です。

民党は感じが悪いと思つたら、新しい議員を選ぼう「来年の参議院選挙は改憲が争点。議論を重ねよう」などと紹介します。

戦争法反対のたたかいで、国民党は立憲主義破壊の安倍政権を打倒して招かれました。池内氏のスピーチの一部を紹介します。

立憲主義の破壊です。